

子ども達は地域の方から楽しく学んでいます。

山口市学校コラボレーター事業

学校の願い

子ども達は、「やってみたい、できるようになりたい。」等たくさんの願いをもっています。そして、経験や体験をして、できるようになった時の笑顔はとてもステキです。すべての子ども達をこのような笑顔にするためには、学校だけではなく、地域の方々の支援や地域の方々との交流が大切になります。山口市学校コラボレーター事業を通して、子ども達がより多くの方とのふれあいを通して最高の笑顔を見せてくれています。

コーディネーターの関わり方

山口市内には、9つの小学校、3つの中学校があります。中学校区ごとにコーディネーターが位置づけられており、学校からの要請を受けて、地域住民の学校コラボ（ボランティア）に依頼し日程等の調整を行っています。また、毎月2回程度コーディネーターの打ち合わせ会を行い情報交流しています。そして、年に3回通信（学校コラボレーター通信）を発行し市民への啓発に役立てています。

活動の工夫や効果

<活動例 山口市立大桑小学校>

○みそづくり（4年生）

総合的な学習の時間に、学校の畑でできた、大豆をつかって、みそづくりをしました。子どもたちは、地域ボランティア「まめなかな」の方々に教えてもらいながら、丁寧に作業をしました。



今年の11月には完成した味噌でトン汁を作る予定です。参加した子どもからは「みそのつくり方を初めて知りました。」「みんなで協力してできました。」「とても楽しかったです。」と笑顔で感想を話してくれました。

○糸車体験（1年生）

国語の教材にある「たぬきの糸車」の学習後に、実際に糸車をつかって糸をつむぐ体験を行いました。初めに、ボランティアの方々が紙芝居をしました。その後子ども達は、教材に出てくる糸車を使って糸をつむぐ体験をしました。ボランティアの方々は教材に即したストーリーを展開しました。子ども達は狸になったつもりで糸車体験をしました。子どもたちは「糸車を使うのは難しかった。」「糸ができてうれしかった。」と笑顔で感想を話してくれました。



成果と課題

<成果>

- ・味噌づくりや糸車の体験等、日本の伝統文化に触れることで、子ども達は、日本の良さや地域のよさを知ることができた。
- ・学校コラボの方々は、本事業の活動を生きがいの一つとして楽しんでいる。
- ・子ども達が学校コラボの方々と触れ合うことで地域を愛する心を育てることができた。

<課題>

- ・多様なしかも行って楽しい学校コラボ活動を企画・開発する。
- ・各学校の特色を生かすため、きめ細かい学校コラボ活動を実現する。
- ・家庭を含む地域社会を再生させるため、新しい地域教育力を培いたい。